

柏の葉スマートシティ 市民参加でイノベーション

つくばエクスプレス（TX）で秋葉原駅からおよそ30分。「柏の葉キャンパス」駅を降りるとホテルや商業施設、高層マンションなどの建物が眼前に広がる。この地区では千葉県や柏市、三井不動産、東京大学、千葉大学などの「公・民・学」が連携し、エネルギーや健康など世界の課題解決を目指す「柏の葉スマートシティ」構想が進行している。ときには市民も加わりながら、町ぐるみでイノベーションを起こしていく。

多彩な人材集う拠点

アジアベンチャーの中心地に



アワード開催でアジアのベンチャーを呼び込む

新産業創出のターゲットは日本だけに止まらない。7月15日に、ゲートスクエアで「アジア・アントレプレナーシップ・アワード(AEA)2014」が閉幕した。アジアの若き起業家たちが一堂に集うビジネス・コンテストで、今回が3度目。世界の課題を解決し新しい未来を切り開く起業家を一目見ようと、会期中の3日間は企業関係者などでにぎわった。

若き起業家支援

現在はまだ「柏の葉スマートシティ」構想の第1ステージが完了したに過ぎない。今年7月の「ゲートスクエア」の開業をもって、開発は第2

さらに連携進む

さらに連携進む

現在はまだ「柏の葉ス
マートシティ」構想の第
1ステージが完了したに
過ぎない。今年7月の
「ゲートスクエア」の開
業をもって、開発は第2
30年までに居住人口を現
在の約5倍となる2万6
000人、就業人口を同
15倍の1万5000人に
拡大する見込みだ。『公
・民・学』の連携が何を
生み出すのか。答えは
少し先の未来にある。

大学生や研究者、大企業、地元住民などさまざまの人材が集う施設だということ。KOI-L側が異色の人材が交流する仕掛けを作ることで、イノベーションや課題解決のヒントが生まれる。施設内には創業支援を手がけるTXアントレプレナー・パートナーズ（T EP）も入居。投資家や弁護士、起業経験のある専門家が、創業に向けた資金や営業戦略などの経営課題を支援する。

つば工クスプレスの「想」を策定した。構想実相の葉キャンバス駅に現に向けて「柏の葉国際は、東大柏キャンバス、キャンバスタウン構想委員会」が設立され、1999年10月大柏の葉キャンバス、員会が設立され、1999年10月

同構想では環境共生、年後の今年7月8日、駅
新産業創造、国際学術、前中核街区「ゲートスク
次世代交通などの目標を工ア」が開業し、本格稼
掲げた。構想策定から6 動した。約12万平方㍍を

“公・民・学”で課題解決

柏の葉国際キャンパスタウン構想

A black and white photograph of a modern office building. The building has a glass facade on the right side and a white, cantilevered section on the left. A large, stylized logo is visible on the upper right part of the glass facade. The sky is cloudy.

は、東大柏キャンパス、
十葉大柏の葉キャンパス
がある。大学の「知」を
生かした街づくりを目指
そうと、2大学に千葉
県、柏市が加わった4者
で2008年度「柏の葉
国際キャンパスタウン構
成員会」が設立され、09年
度には、柏の葉エリアに
おける主な事業主体であ
る三井不動産、UR都市
機構が加わった。この6
者で、『公・民・学』連携
の枠組みが整った。

同構想では環境共生、新産業創造、国際学術、次世代交通などの目標を掲げた。構想策定から6年後の今年7月8日、駅前中核街区「ゲートスクエア」が開業し、本格稼働した。約12万平方㍍を

開発し、街区を超えて電力を融通できるスマートグリッド（次世代電力網）を運用し、オフィス棟やホテル、商業施設、住宅など地域全体でエネルギー利用の最適化を進める。スマートグリッドの

千葉県特集